



平成30年度 窯業技術センター 研究成果発表会

窯業技術センター 2階 大会議室 / 視聴覚研修室

研究発表 14:20~14:45

ゼオライトと光触媒で、吸着・浄化します！

①機能性素材を活用した水質浄化装置の製品化に関する研究

環境・機能材料科 狩野 伸自・秋月 俊彦

- 1.未利用資源を活用し、ゼオライト粉の合成と、その焼結体等を開発しました。
- 2.有機物分解能を向上し、空気浄化やカビ類の増殖も抑制する光触媒シート等を共同開発しました。

輻射と導電性を兼ね備えた放熱素材を開発！

②機能性を有する遠赤放熱部材の製品化

研究企画課 山口 典男

遠赤外線放射率が高く輻射放熱しやすく、また、電気伝導性も併せもつ素材をコーティングした新しい機能をもつ筐体を試作しました。

飯碗を高付加価値化！

③陶磁器の表面改質に関する研究

陶磁器科 吉田 英樹

つけ置きすることなくすぐに食洗機で洗浄可能な汚れ落ちの良い飯碗の開発を目的に、炊飯米の付着しにくい釉薬の開発を行いました。



陶磁器製品の新規市場開拓に向けて！

研究発表 15:00~15:15

陶磁器製品の新規市場開拓に向けて！

④3Dデータを活用した精密な陶磁器製品製造技術の開発

戦略・デザイン科 依田 慎二

NC加工機による陶磁器生地 of 切削加工という新たな陶磁器製造技術を開発しました。このことで、精密な造形を反復して行うことが可能となりました。



廃石膏ゼロの循環型社会を目指して

事例紹介 15:15~15:45

人にやさしい食器の開発 -自社ブランドの確立を目指して-

(有)アイユー 小柳 勇司様、戦略・デザイン科 桐山 有司センターと自社オリジナル商品の開発を手掛けて以来、自社の方向性や商品、ターゲット等、「人にやさしい」自社ブランドの確立を目指して取組んできた事例を紹介します。

廃石膏リサイクルに向けた取り組み -廃石膏ゼロの循環型社会を目指して-

(有) 県央リサイクル開発 代表取締役 梅本 昌秀様、研究企画課 山口 典男陶磁器業界から排出される廃石膏型をリサイクルするための焼成技術や評価技術など共同で取り組んだ事例について紹介します。

その他 15:45~16:30

(視聴覚研修室)

- ①ポスターセッション
- ②共同研究成果品の紹介

参加申込先 FAX : 0956-85-6872

企業名	参加者氏名	連絡先